



平成 27 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 黒田精工株式会社
 代表者名 取締役社長 黒田 浩史
 (コード番号 7726 東証 第2 部)
 問合せ先 経理部長 荻窪 康裕
 (TEL 044-555-3800)

業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成 26 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期業績予想値と、本日公表の平成 27 年 3 月期の実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成 26 年 5 月 14 日に公表した期末配当予想と異なる金額にて、平成 27 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので併せてお知らせいたします。なお、期末配当につきましては平成 27 年 6 月 26 日に開催予定の当社第 71 期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 平成 27 年 3 月期 通期 連結業績予想数値との差異(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,900	△55	150	40	1円42銭
実績値 (B)	13,426	△394	△113	△234	△8円35銭
増減額 (B-A)	△474	△339	△263	△274	
増減率 (%)	△3.4	—	—	—	
(ご参考) 前期通期実績(平成 26 年 3 月期)	12,109	△257	△66	853	30円41銭

(2) 平成 27 年 3 月期 通期 個別業績予想数値との差異(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,140	40	180	90	3円20銭
実績値 (B)	10,772	△142	63	33	1円17銭
増減額 (B-A)	△370	△180	△120	△60	
増減率 (%)	△3.3	—	—	—	
(ご参考) 前期通期実績(平成 26 年 3 月期)	9,508	△211	12	819	29円21銭

(3) 差異の理由

今期導入した新情報システムへの切り替えや生産体制の見直しに伴う受注・生産面への影響が予想以上に長期化したこと、予定していた大口システム商品の売上が実現できなかったこと、大口顧客の生産調整が予想以上に長引いたことに加えてマレーシアの子会社が大口顧客の生産低迷により大幅営業赤字と不調であったこと、欧州の子会社が経済環境の低迷の中で買収後の体制整備に伴う先行的経費の支出を行ったこと、中国の子会社がやはり景気低迷の影響もあり営業赤字から脱却できなかったこと等の要因が重なり、営業利益を中心に大幅な業績差異が発生いたしました。新情報システムの立ち上げに伴うデータ収集の混乱や、海外子会社の決算監査対応等により決算数値の把握・確定が従来より遅れてしまったことから、本日の発表となりました。

2. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (平成 26 年 5 月 14 日)	前期実績 (平成 26 年 3 月期)
基準日	平成 27 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日
1株当たり配当金	1円00銭	2円00銭	2円00銭
配当金総額	28百万円	—	56百万円
効力発生日	平成 27 年 6 月 29 日	—	平成 26 年 6 月 30 日
配当原始	利益剰余金	—	利益剰余金

修正の理由

当社の配当政策は、企業体質強化のための内部留保の充実を勘案しつつ、業績に裏付けられた安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、平成 26 年 3 月期決算発表時点(平成 26 年 5 月 14 日)では 2円としておりましたが、連結での決算結果を勘案し、誠に遺憾ではありますが 1株当たり 1円とさせていただきます。

以上